

演習 4 - 製品化と公開

この演習では、これまでの演習で作成したAPIを製品化して公開します。

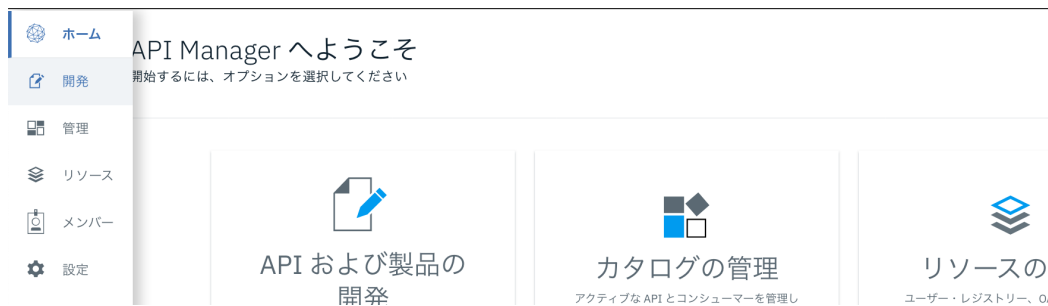
演習 4 - 目的

この演習では、以下の内容を理解できます。

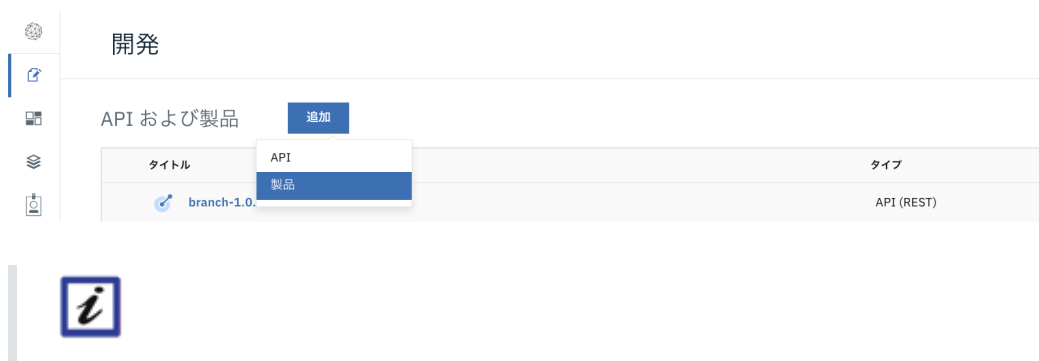
- 製品、プランを定義する方法
- レート制限を追加する方法
- 製品の公開方法

4.1 - 製品、プランの作成

1. API Managerにログインしていない場合には、ログインします。
2. 左のメニューから **開発** を選択し、開発メニューに進みます。



3. **開発** 画面で、**追加** メニューから **製品** を選択します。



製品とは、APIをグルーピングして公開する単位です。作成したAPIは製品に含めて公開し、製品単位でライフサイクルを管理します。

4. **新規製品** を選択し、**次へ** をクリックします。

←

製品の追加

作成

☒

新規製品
レート制限とプランを追加して新規製品を作成します

インポート

☒

既存の製品
製品の既存の定義を使用します

キャンセル

次へ

5. **タイトル** に **FindBranch** と入力し、**次へ** をクリックします。

←

新規製品の作成

情報

製品の詳細を入力します

タイトル

FindBranch

名前

findbranch

バージョン

1.0.0

要約 (オプション)

新規製品の作成

レート制限とプランを追加して新規作成します

[詳細情報](#)

キャンセル

次へ

6. この製品に追加するAPIを選択します。ここでは、**branch-key** と **FindBranch** を選択して、**次へ** をクリックします。



新規製品の作成

API

この製品に追加する API を選択します

<input type="checkbox"/>	タイトル	バージョン	説明
<input type="checkbox"/>	branch	1.0.0	
<input checked="" type="checkbox"/>	branch-key	1.0.0	
<input checked="" type="checkbox"/>	FindBranch	2.0.0	

項目/ページ 10



戻る

キャンセル

次へ

新規製品の作成

7. プラン はあとで編集するので、ここではデフォルトのまま 次へ をクリックします。



新規製品の作成

プラン

レート制限とプランを追加して新規製品を作成します

追加

デフォルトのプラン

タイトル

デフォルトのプラン

説明 (オプション)

デフォルトのプラン

レート制限

100 / 1 時間

戻る

キャンセル

次へ

新規製品の作成

レート制限とプランを追加して新規製品を作成します

[詳細情報](#)

8. 次の画面もデフォルトのまま 次へ をクリックします。

公開

この製品の公開を有効にします

☐ 製品の公開

可視性

この製品を表示可能にする組織またはグループを選択します

☒ 公開

☐ 認証済み

☐ カスタム

サブスクリプション可能性

この製品をサブスクリプションする組織またはグループを選択します

☒ 認証済み

☐ カスタム

戻る

キャンセル

次へ

新規製品の作成

レート制限とプランを追加して新規作成

[詳細情報](#)

9. 製品の枠が作成されます。 **製品の編集** をクリックして、設定の確認、編集を行います。

← 新規製品の作成

要約

✓ 新規製品が作成されました

✓ API が追加されました

✓ レート制限が追加されました

製品の編集

新規製品の作成

レート制限とプランを追加して新規作成します

[詳細情報](#)

10. 製品には、どのような設定が含まれるのかを確認してみましょう。まず、 **製品のセットアップ** メニューには、製品のタイトルや問い合わせ先など、基本的な情報が含まれています。これらの情報は、製品を公開すると開発者ポータルへ表示されます。

11. 左のメニューからプランを選択します。現在ウィザードで作成したデフォルトのプランが1つのみ設定されているので、右の **追加** ボタンをクリックしてプラ

ンを追加します。

開発

findb... 1.0.0

設計

ソース

保存

製品のセットアップ

可視性

API

プラン

カテゴリー

プラン

製品にプランを追加します

追加

デフォルトのプラン

デフォルトのプラン

⋮



プランとは、製品の中に定義する、API利用者にAPIの利用登録をさせる単位です。プランごとに、利用可能なAPIやレート制限を変えておくことで、APIの利用可否、呼び出し可能回数を、API利用者(クライアントアプリケーション)ごとに制御できます。

- プランのタイトルに Silver と入力し、レート制限 を 5回/1時間 に変更します。バースト制限 はデフォルトのままにしておきます。下までスクロールして、保存 をクリックして保存します。

レート制限

追加

名前	呼び出し	単位時間	単位	ハード制限	削除
デフォルトのレート制限	5	1	時間	<input checked="" type="checkbox"/>	

Plan Burst Limits

バースト制限

追加

名前	呼び出し	単位時間	単位	削除
デフォルトのバースト制限	10	1	秒	

キャンセル

保存

13. 同様の手順で Gold プランを作成します。レート制限 を 10回/1時間 に変更します。バースト制限 はデフォルトのままにしておきます。下までスクロールして、保存 をクリックして保存します。

プランの作成

タイトル

Gold

名前

gold

説明 (オプション)

☐ 承認

Plan Rate Limits

レート制限 [追加](#)

名前	呼び出し	単位時間	単位	ハード制限	削除
デフォルトのレート制限	10	1	時間	<input type="checkbox"/>	

Plan Burst Limits

バースト制限 [追加](#)

名前	呼び出し	単位時間	単位	削除
デフォルトのバースト制限	10	1	秒	

14. 最初に作成されたデフォルトのプランを削除します。デフォルトのプラン の右のメニューをクリックし、削除 を選択して削除します。

プラン

製品にプランを追加します

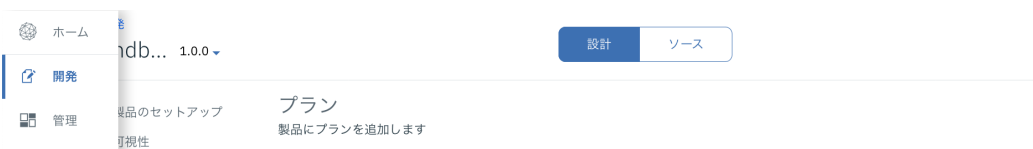
追加

デフォルトのプラン デフォルトのプラン	⋮ 編集 削除
Silver	⋮
Gold	⋮

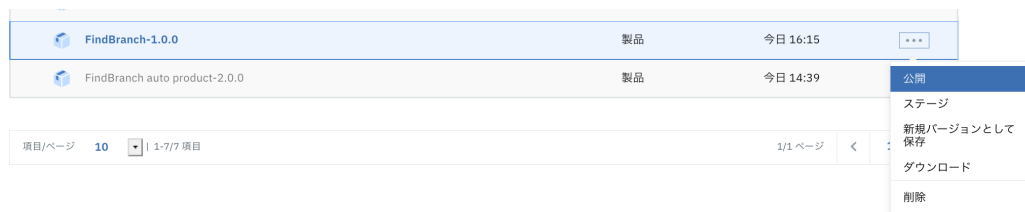
以上で、製品、プランの作成が完了しました。

4.2 - 製品の公開

- 作成したプランを公開します。左のメニューから **開発** を選択して開発メニューに戻ります。



- FindBranch 製品の右のメニューから **公開** を選択します。



一覧には、APIと製品の両方がリストされているため、同じ名前のAPIを選択しないように注意してください。

- カタログは **Sandbox** が指定されていることを確認し、**公開** をクリックして、製品を公開します。

←

製品の公開

公開先

カタログ

Sandbox

☐ 特定のゲートウェイ・サービスに公開する
デフォルトでは、この製品はすべてのゲートウェイ・サービスに公開されます。このオプションを有効にすることで、特定のゲートウェイサービスにも公開できます。

キャンセル

公開

4.3 - 製品のステータスの確認

- 公開した製品のステータスを確認してみましょう。カタログの管理画面で確認ができます。左のメニューから **管理** を選択します。

ホーム

開発

管理

リソース



メンバー

設定

FindBranch 開発

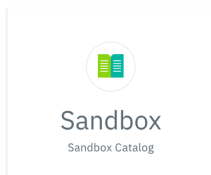
FindBranch および製品

追加

タイトル	タイプ
 branch-1.0.0	API (REST)
 branch-key-1.0.0	API (REST)

- 公開先のカタログを選択します。ここでは **Sandbox** を選択します。

カタログは、API 製品が公開されたときに、関連付けられた開発者ポータルに表示される API 製品のコレクションをホストします



- Sandbox** カタログにデプロイされている製品の一覧が表示されます。先ほど公開した FindBranch 製品のステータスが **published** になっていることを確認してください。



タイトル	名前	STATE	LAST STATE CHANGED
> branch auto product	branch-auto-product 1.0.0	published	先週火曜日 16:13
> branch-key auto product	branch-key-auto-product 1.0.0	published	先週火曜日 15:46
> FindBranch	findbranch 1.0.0	published	今日 16:28
> FindBranch auto product	findbranch-auto-product 2.0.0	published	今日 14:39

項目/ページ	10	▼	1-4/4 項目	1/1 ページ	<	1	▼	>
--------	----	---	----------	---------	---	---	---	---



一覧には、手動で公開した製品以外にも、テストツールでテストを行った際に、自動的に作成、公開された製品も含まれています。自動で作成された製品には、製品名の最後に `auto product` という名前がつけられています。



左上のをクリックして戻ります。

以上で、演習4は終了です。

続いて、[演習 5 - 開発者ポータルの利用](#)に進んでください。